



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 空港施設株式会社
 コード番号 8864 URL <http://www.afc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 甲斐 正彰
 (氏名) 濱 隆裕
 配当支払開始予定日

TEL 03-3747-0251
 2019年11月21日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,559	2.8	2,507	10.7	2,429	20.2	1,532	16.8
2019年3月期第2四半期	12,214	6.9	2,264	4.2	2,020	△1.3	1,311	7.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,297百万円 (△1.9%) 2019年3月期第2四半期 1,322百万円 (△26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	30.77	30.63
2019年3月期第2四半期	26.35	26.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	104,905	56,677	51.7	1,089.13
2019年3月期	101,384	55,740	52.6	1,072.90

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 54,247百万円 2019年3月期 53,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	7.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,780	2.2	4,170	0.8	3,710	11.2	2,320	10.2	46.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	52,979,350 株	2019年3月期	52,979,350 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,171,294 株	2019年3月期	3,219,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	49,783,847 株	2019年3月期2Q	49,757,576 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀による金融緩和が続く中で、個人消費の持ち直しや設備投資の増加等により景気は緩やかな伸びが続いておりますが、米中貿易摩擦等による世界経済の停滞と国内で度重なる台風等の自然災害もあり、輸出や生産に弱さが見られました。

今後につきましては、国内での消費増税後の影響などに加え、米中貿易摩擦や中国景気の減速、さらに、米イランの対立を軸とした中東情勢の緊迫化、日韓関係の悪化等もあり、我が国景気への影響も懸念されております。

航空業界におきましては、国際線・国内線とも旅客数は概ね堅調に推移する中、国際線では日韓関係の悪化を受け日韓路線の一部運休や減便がありました。また、中国やタイ等が伸び、加えて9月はラグビーワールドカップの出場国からの伸びが顕著にありました。また、国内線ではお盆期間中に西日本を通過した台風10号をはじめ9月の台風15号等による欠航もありましたが、上期合計での増加基調は維持されております。一方、航空貨物については、米中摩擦の影響もあり若干低調に推移しております。

なお、羽田空港では、来年3月以降の年間3.9万回の国際線発着枠の増強を中心とする機能強化が進められており、本年9月には増便についての配分枠も発表されております。

エアライン各社においては、堅調なインバウンドの伸びに伴う旅客数の増加の中で、価格競争も激しくなっており、原油価格の不安定な値動きや為替変動等の懸念材料もあり、新鋭機材の導入や路線網の拡充、LCC事業の強化等に取り組んでいる状況にあります。

このような経済情勢のもと、当社グループの連結業績につきましては、昨年取得した京都のホテルの通年稼働に加え、航空大学校への訓練用機のリース事業が始められたこと等により、売上高は12,559百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は、昨年のホテル取得に伴う公租公課が減少したこと等に伴い2,507百万円（同10.7%増）となりました。また今期は営業外費用において、昨年計上した社債発行費用や撤去費用引当金が減少したこと等により、経常利益は2,429百万円（同20.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,532百万円（同16.8%増）と増益となり、概ね順調に推移しております。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、羽田空港における入居が進んでいることや、既存施設の一部賃料値上げに加え、昨年6月末から賃貸を開始した京都のホテルの通年稼働や、航空大学校への訓練用機のリース収入が加わったこと等により、売上高は9,398百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益は1,853百万円（同16.7%増）となりました。

②熱供給事業

連結子会社の東京空港冷暖房(株)における熱供給事業は、7月の気温が低かったこともあり売上高は1,685百万円（同1.0%減）とほぼ横這いとなりました。これに伴い電気・ガス等の使用量が減少したものの、前期に実施したボイラー更新設備の償却費増等もあり、営業利益は475百万円（同1.9%減）となりました。

③給排水運営その他事業

給排水運営その他事業は、羽田空港における工事用水の減少等により売上高は1,474百万円（同0.7%減）となり、費用面では修繕費の増加等もあり営業利益は178百万円（同7.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、年度内完成予定の羽田空港のオークビル機内食工場増改築工事、SDプラント新築工事、テクニカルセンター倉庫棟新築工事及び、神戸空港格納庫増築工事等に伴う建設仮勘定の増加により、前連結会計年度末比3,520百万円増加の104,905百万円となりました。

(負債)

負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末比2,582百万円増加の48,227百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比937百万円増加の56,677百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は51.7%と前連結会計年度末に比べ、0.9ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、売上及び各利益とも予想を上回る水準で推移しておりますが、2019年5月10日付の2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）で発表いたしました2020年3月期の連結業績予想については、現段階での変更はいたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,324,573	5,642,680
受取手形及び売掛金	1,208,590	1,297,833
有価証券	1,500,000	—
リース債権及びリース投資資産	6,600,080	7,391,732
営業貸付金	5,741,839	5,119,180
原材料及び貯蔵品	12,908	11,356
その他	1,456,944	2,001,213
流動資産合計	20,844,937	21,463,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,359,577	45,911,966
機械装置及び運搬具(純額)	5,395,693	5,084,746
工具、器具及び備品(純額)	568,807	504,752
土地	14,596,026	14,902,098
建設仮勘定	3,299,425	5,897,753
有形固定資産合計	71,219,530	72,301,316
無形固定資産		
ソフトウェア	27,023	32,518
ソフトウェア仮勘定	—	39,679
その他	14,906	14,831
無形固定資産合計	41,929	87,028
投資その他の資産		
投資有価証券	7,671,946	7,773,338
長期貸付金	1,732	1,532
繰延税金資産	320,447	445,316
退職給付に係る資産	203,945	183,989
その他	1,090,548	2,658,851
貸倒引当金	△10,267	△10,267
投資その他の資産合計	9,278,352	11,052,759
固定資産合計	80,539,812	83,441,105
資産合計	101,384,749	104,905,101

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,532,544	761,664
短期借入金	5,974,226	6,735,052
未払金	1,064,205	984,143
未払法人税等	557,004	835,986
未払費用	109,744	104,887
前受収益	1,045,001	2,289,003
賞与引当金	131,094	145,148
役員賞与引当金	30,058	25,740
固定資産撤去費用引当金	364,598	471,098
その他	384,329	349,717
流動負債合計	11,192,806	12,702,442
固定負債		
社債	6,000,000	6,000,000
長期借入金	21,729,366	22,958,648
長期預り保証金	5,915,755	5,954,681
長期未払金	476,128	348,511
役員退職慰労引当金	1,044	1,740
繰延税金負債	6,379	6,690
固定資産撤去費用引当金	323,237	216,737
その他	—	37,965
固定負債合計	34,451,910	35,524,974
負債合計	45,644,717	48,227,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,826,100	6,826,100
資本剰余金	6,982,890	6,982,890
利益剰余金	38,777,424	39,961,067
自己株式	△1,784,131	△1,757,268
株主資本合計	50,802,282	52,012,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,817,756	2,534,823
為替換算調整勘定	△232,638	△300,118
その他の包括利益累計額合計	2,585,117	2,234,705
新株予約権	113,808	114,110
非支配株主持分	2,238,823	2,316,079
純資産合計	55,740,032	56,677,684
負債純資産合計	101,384,749	104,905,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,214,580	12,559,145
売上原価	8,931,772	9,011,708
売上総利益	3,282,807	3,547,436
販売費及び一般管理費		
役員報酬	144,939	148,399
給料及び賞与	220,092	232,189
賞与引当金繰入額	88,058	90,414
役員賞与引当金繰入額	30,058	25,740
役員退職慰労引当金繰入額	696	696
旅費交通費及び通信費	55,989	50,375
減価償却費	13,970	11,885
租税公課	92,631	90,103
その他	371,412	389,935
販売費及び一般管理費合計	1,017,847	1,039,737
営業利益	2,264,960	2,507,698
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	141,149	144,665
受取手数料	7,323	7,580
為替差益	44,664	—
その他	50,356	22,355
営業外収益合計	243,494	174,602
営業外費用		
支払利息	203,052	210,795
固定資産撤去費用	22,411	21,348
撤去費用引当金繰入額	142,524	—
為替差損	—	19,154
社債発行費	119,788	—
その他	—	1,449
営業外費用合計	487,775	252,748
経常利益	2,020,679	2,429,553
特別損失		
固定資産除却損	4,289	—
特別損失合計	4,289	—
税金等調整前四半期純利益	2,016,389	2,429,553
法人税等	619,259	781,914
四半期純利益	1,397,129	1,647,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	86,000	115,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,311,129	1,532,054

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,397,129	1,647,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136,362	△282,932
為替換算調整勘定	△211,038	△67,479
その他の包括利益合計	△74,675	△350,412
四半期包括利益	1,322,454	1,297,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,236,453	1,181,642
非支配株主に係る四半期包括利益	86,000	115,584

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。